



# 秋田県立大曲農業高等学校 果樹部

秋田県大仙市大曲金谷町26番9号

## 湯治

－成長の果実を分配するために－



【マイナスイオン測定風景】

地域課題：秋田県の高齢化と人口減少は果樹の生産にも影響し、労働力や農薬散布回数が多い大果樹から施設を利用した小果樹栽培に移行している。特にラズベリーの生産量は日本一である。ベリー問題：しかし、ラズベリーには指定された農薬はなく、毒性の高い殺菌剤使用の他、資材においても高騰の中、シートやネットなど物理的栽培法に依存せざるを得ない状況にある。仮説の構築：山林の管理を行っている企業から、秋田県仙北市玉川地内に野生のキイチゴ「クサイチゴ」が自生していたことを聞いたが、個体数は減り絶滅危惧Ⅰ類である。そこで野生のキイチゴによる種の保存と栽培が地域環境と小果樹経営に好影響をもたらすと仮説した。